



新風会 TEL&FAX 03-3942-4888 〒112-0003 文京区春日1-16-21-シビックセンター22階
E-mail: uedayukiko@cpost.plala.or.jp

～子育てしやすいまちNO.1をめざして～

文京区議会第2回定例会で、新風会を代表し、

- ①基本構想の見直しについて
- ②区民にとって便利な区役所づくりについて
- ③待機児童対策について
- ④後期高齢者医療制度と保険料誤徴収について
- ⑤まちづくりと都市計画道路について

の大きく5点について一般質問を行いました。

文京区では今年4月現在での保育所待機児童数が100人を超えるなど、深刻な待機児童問題を抱え、待機児童解消のための緊急対策が必要な事態です。

新風会は、働く家族が安心して預けられる、安心して働きに行ける施設の確保と、区内施設で多様化する教育ニーズに対応することを求めています。

充実した幼児教育への関心も高まる昨今、保育園における「教育」の充実も要望しています。

文部科学省と厚生労働省の管轄の違いなど、幼保一元化への道のりは険しいかもしれませんが、

「新しい日本の教育・労働のあり方を作っていく第一歩」だと考えています。

【上田ゆきこの目標】

子どもを育てながらも安心して働ける環境と、働く母親や家族をカッコいいと感じられる子どもたちがさらに増えるような政策を提言していきます。

私の母は教師で、物心ついた時から外で働いていました。私は子供のころからずっとそういう母をカッコいいと思っていました。

両親はもちろん、家族にも地域にも学校などにも支えられながら、健康に育つことができたことを感謝しています。

上田 問 幼保一元化の今後について

柳町こどもの森も3年目を迎え、課題が浮き彫りになってきたと思う。検証内容について何う。今後幼保一元化園の展開をどうしていく考えか。

教育長 答 保育内容の異なる園児が安定して園生活を送れるための取組みや、生活スタイルが様々な保護者によるPTA活動の進め方、職種や勤務体系が違う職員の連携等の課題について、一定の改善を図ってきた。

今後さらなる改善を図り、ハードとソフトの両面から、幼保一元化施設の今後の事業展開の可能性を探るべく、今年度中に報告をまとめたい。

上田 問 長い目でみた子育て支援を！

深刻な待機児童数解消のための緊急対策は必要だが、財政負担を考えると、安易に区立保育園の増設は難しい。今後の待機児童数の動向をどうとらえ、長期的にどのような対応策を見通しているのか。

また、育成室の待機児童対策についてもあわせての検討が必要ではないか。

区長 答 育成室についても同様に、緊急に必要な地域を中心に、適切な対応を検討している。なお長期的な対応策については、平成21年度に実施する「子育て支援計画」の見直しの中で議論していく。

上田 問 部署にとられない総合的な対策を！

子育てに関する部署が男女協働子育て支援部に集約されていないことで総合的な対策が難しい。縦割りのないかたではなく、例えば、公立幼稚園での預かり保育の実施など、様々なバリエーションでの待機児童対策が考えられる。別々の部署からの答弁ではなく、区として、子育て支援に関する今後のスタンスを何う。

区長 答 保育所定員の改定や多様な保育サービスの提供、既存施設等を活用してのスペースの確保など、あらゆる可能性について、全庁を挙げて検討を進めている。

* 上田ゆきこのプロフィール *

- 昭和56年富山県生まれ
- 平成17年お茶の水女子大学文教育学部卒業
- 平成19年お茶の水女子大学大学院修士課程修了
- 平成19年文京区議会議員に初当選(25歳・3位)
- 会派「新風会」所属
- 委員会「文教委員会」
- 「自治制度・行財政システム調査特別委員会」
- 「文京アカデミー推進調査特別委員会」所属

区民本位の行政運営を求めていきます

民間委託チェックポイント!!

民間委託はコストの削減にもなりますが、その分、委託業者のチェックが必要です。行政が委託を適正に行っているか、チェックが区民の信託を受けた議会によって行われなければなりません。

特に今年度初めには保険制度改正にあたり、文京区で人的ミスによる保険料の誤った徴収が起きてしまいました。

このような事件を防ぐためにも、上田ゆきこは区議会で引き続き民間委託の適正化・効率的な行政改革を質問に取り上げています。

【コールセンター開設を！】

上田 問 23区でもコールセンターを設置している区が増えている。現在の行政情報センターの電話相談をベースにすれば、利便性の高いコールセンターを低予算で開設することが可能だと考えるがどうか。

区長 答 区民サービス向上が最大の狙いであり、たらい回しの防止、業務の効率化などの効果が報告されている。費用対効果の検証も必要なので今後慎重な検討が必要と考えている。

【休日・夜間のサービス拡大を！】

上田 問 休日、夜間開庁する自治体が増えてきておりその取扱業務も多様になっている。夜間・休日のサービスコーナーでの業務を拡大していくことについてどのような検討がされているか。

区長 答 夜間休日の業務の拡大については、土日窓口の開庁、※1ワンストップサービス、※2区民サービスコーナーの見直し等とともに、区民サービス向上の観点から取り組むべき重点的な検討課題と考える。職員の勤務体制のあり方を含め、鋭意検討したい。

※1 **ワンストップサービス** とは
たらいまわしを防ぐために、なるべく最初の窓口で対応できるようにすること。

※2 **区民サービスコーナー** とは
区立図書館、区役所2階などで各種証明書発行手続きや取次が休日でもできる場所。

【IT人材の確保・育成を！】

上田 問 今回の事件を契機に、委託業者に対する指導強化が必須になっている。区の職員にもSEなどの専門知識を持った職員が必要ではないか。文京区としては、技術職職員の確保とIT人材の育成を今後どのようにすすめていくのか。

区長 答 今後、システム全体の的確な運用管理のためには職員の知識・技能のレベルアップが不可欠と考えている。ノウハウの蓄積と継承に努めるとともに、研修等により一層の対応能力の向上を図りたい。また、大規模なシステム改修等にあたっては、外部の専門家の助言等を活用していく。

【契約ガイドラインの策定を！】

上田 問 葛飾区は、契約の適正化、透明化をはかろうと、情報システムを導入する際の契約方法などのガイドラインを策定した。システム導入に関わる度重なるトラブルの再発を防ぐために、このようなガイドラインの策定を検討されてはどうか。

区長 答 調達ガイドラインの策定については、事前のシステム評価や外部の専門家の助言を受けた仕様書の作成などの改善を進めつつ今後研究したい。



他の質問内容など、詳しい資料をご希望の方はご連絡をいただければ、一般質問の内容と答弁の概要をお送りいたします。

文京区における街づくりと都市計画道路について新風会として要望しました。
今後とも、不忍通の拡幅、地域の美しく、住み良い街づくりを推進していきます。